

みんなでも 乗り越えよう

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、インフラの復旧、将来に向けたまちづくり、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

町内で営業を開始しました

8月27日、浪江町内に震災後初のコンビニエンスストア「ローソン」がオープンしました。
(株)ローソンの再開は旧警戒区域初です。また、町全域が避難指示を受けている町村でのコンビニ再開も初です。

浪江町にお越しの際には、ぜひお立ち寄りください。

町民の
皆さんへ

(株)ローソン浪江町役場前店 (旧幾世橋店)

この度、浪江町でローソンを再開することができました。

復興に従事される方、町に戻られている地域の皆さまのために私たちができることは、このマチでお店を再開し、マチの明かりを灯すことと考えました。

浪江町へ初めて出店した時にも福島の実験者をしており、浪江町での店舗営業は私の使命と感じております。

私たちは「みんなと暮らすマチを幸せにします」という企業理念のもと、皆さまが安心でき、喜んでいただけるお店づくりを目指してまいります。



(株)ローソン東北支店 支店長 村瀬達也

[浪江町役場前店(旧幾世橋店)]

浪江町大字幾世橋字芋頭4-1

営業時間：月～土曜日 7時～15時

日曜日(定休日)

※開店後の状況に応じ変更あり。

TEL 0240(24)0037

問 産業・賠償対策課商工労働係 TEL 0243(62)1106

なみえの

あの店
この店

町は、避難先であらたにスタートした企業・店舗や町内で営業をスタートした企業・店舗を随時、町ホームページや広報誌でご紹介しています。

URL <http://www.town.namie.fukushima.jp/>

ふるさとを離れ、ふるさとを思いながら避難先であらたにスタートした企業・店舗の皆さん、町の復興に向けて町内で営業をスタートした企業・店舗の皆さんを応援してください。

掲載ご希望の企業・店舗の方はご連絡ください

問 復興推進課情報統計係 TEL 0243(62)4731

上下水道の復旧状況

今年6月に復興庁が発表した「避難指示解除準備区域等における公共インフラ復旧の工程表」(改訂版)のなかから、上下水道に関する部分を一部抜粋して紹介します(詳しい工程表は、町や復興庁のホームページからダウンロードできます)。

●→ 工程が見込めるもの ●----→ 現時点で工程が見込みにくいもの

【上水道】	26年度				27年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
刈野取水場、谷津田取水場、大堀取水場	平成25年度に修繕完了しています							
小野田取水場	水管橋本復旧							
配水管調査修繕(帰還困難区域を除く)	調査・設計・工事							
配水管調査修繕(帰還困難区域)								
災害公営住宅・防災集団移転宅地内配水管					調査・設計・工事			

※ 低線量地区から復旧を進めます。町内の各地区で水が使えるまで、町内の数か所での給水を実施します。現時点では未定です。放射線量の減衰を見極めながら復旧に着手します。

※ 住宅建設の工程と合わせて新しく建設します。

【下水道】	26年度				27年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
公共下水道	査定 工事							
浪江浄化センター、放流管	査定 工事							
公共下水道 管渠	調査・設計・工事							
災害公営住宅・防災集団移転住宅地区内管渠					調査・設計・工事			

※ 低線量地区から順に復旧を進めます。

※ 住宅建設の工程と合わせて新しく建設します。

※ 自宅敷地内における自宅から上・下水道への接続は、平成28年度以降、原則として各世帯で対応となります。

【農業集落排水】	26年度				27年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
農業集落排水事業	査定 工事							
高潮浄化センター、管渠								

平成27年度の完了を目指します。



常磐自動車道の浪江IC開通に伴い行われた、浪江IC事務所への給水管接続工事



上水道の漏水修繕工事の様子



今回は、災害廃棄物の処理と上下水道復旧の状況についてご紹介します。

災害廃棄物の処理(環境省の事業)

浪江町内の災害廃棄物(がれき)等は28万9千トンと推定されており、現在、津波被災地域全域の廃棄物の撤去、および破碎・選別作業が進められています。帰還の妨げとなるこうした廃棄物は、平成27年度中に仮置き場への搬入を完了することを目標としています。

その仮置き場は、沿岸部2か所(請戸・棚塩)に設置される予定で、今夏中に造成工事に着手、秋ごろに一部の供用開始を目指しています。さらに、町有地のマリパークなみえには、300トン/日の処理能力を持つ仮設焼却施設を設置します。今年度中に用地造成および施設の建設工事に着手し、平成27年度に焼却処理を開始する予定です。



請戸小学校やマリパークなみえでは、災害廃棄物の慎重な選別が続けられています。



請戸漁港の復旧作業においても、港内に沈んだ災害廃棄物の撤去、および浚渫(海底の土砂を取り除く作業)が始まりました。(福島県の事業)



町の農業再生に向けて

稲の生育状況 (水稲実証栽培)

5月16日(金)、酒田行政区で水稲実証栽培が行われ、約3か月が過ぎました。町の水稲実証栽培に協力いただいている松本さん、半谷さんに稲の生育状況について伺いました。



①生育状況：松本さんの農地



②生育状況：半谷さんの農地

を出しています。このまま何もなければ、震災前並みの収穫量が見込まれるのではないかとのことです。9月下旬から10月初旬までに収穫期を迎えそうです。「一日一日、稲の成長を感じる、それが楽しい」と松本さん、「稲の栽培は楽しい」と半谷さん。二人とも喜びの表情でした。

今は収穫期に向け、収穫機械等の点検や整備へと準備を進めています。浪江町はふるさとの再生に向け、農業者が営農できる環境づくりと復興の見える化を推進しています。今後、浪江町では除染が進み、除染済みの農地が拡大していきます。松本さん、半谷さんの協力のもと行っている水稲実証栽培は、農業再生の道しるべとなります。無事収穫を迎えることができれば、浪江町の営農再開に向けて大きく前進しそうです。



トルコギキョウの開花

浪江町北幾世橋地区で、川村博さんを中心としたグループが定植していたトルコギキョウが見事に開花しました。品種も色もとりどりのトルコギキョウがハウスに広がっています。収穫されたトルコギキョウは、南相馬市の道の駅で販売しています。またこの度、8月6日に東京の

大田市場へ出荷しました。浪江町から県外への農作物の出荷は初。花きは非食用であるため風評被害は受けにくく、農業再生に向けた期待の産品となりそうです。

トルコギキョウの花言葉は、「希望」です。復興へ向け大きく花開く——そんな希望を抱きながら、花き栽培に思いを込めます。

問 産業・賠償対策課農林水産係 TEL 0243(62)1107

浪江町ADR集団申立て

ADR和解案受諾を求め、町民代表が国・東京電力(株)に対し要求活動を行いました

平成26年7月24日、浪江町民代表24名(町長、町議会議長、行政区長会長、行政区長、自治会長、意見陳述者)が、東京電力(株)・文部科学省・経済産業省を訪れ、浪江町ADR集団申立てと和解案に対する東京電力(株)の拒否回答について厳重な抗議をするとともに、改めて受諾をするよう強く要求しました。

東京電力(株)に対する要求行動

東京電力(株)本店において、福島復興本社代表の石崎副社長に町長と行政区長会長が要求書を手渡しました。

町長は東京電力(株)に対して速やかに和解案を受諾するよう語気強く求め、また行政区長会長も、行政区が分散避難を強いられ地域が失われかけている現状を訴えました。

つづいて町民の皆さんから和解案の受諾を求める要求や東京電力(株)の姿勢に対する厳しい意見などが出され、要求活動は1時間以上にわたりました。

今後の和解成立に向け、継続的に働きかけを進めます。



東京電力(株)石崎副社長へ要求書を出す

町が和解案を受諾した後の経過

- H26.5.26 町→和解案受諾を正式決定(回答書提出)
- H26.5.29 東京電力→回答期限の延長を求める「上申書」提出
- H26.5.30 町→町長が東京電力の「上申書」に対し抗議のコメントを発表
浪江町支援弁護団→早期回答を求める「上申書」提出
- H26.6.25 東京電力→拒否回答書提出
- H26.6.26 町→町長は東京電力の「拒否回答」に対し、「信義に強く反し、著しく不誠実」とコメントを発表
浪江町支援弁護団→以下の内容の「上申書」提出
 - 東京電力が和解案を正しく理解せずに拒否した点を指摘
 - 東電が受諾するようADRセンターによる説得を求める
- H26.7.11 浪江町支援弁護団→以下の内容の「上申書」提出
 - 東京電力が回答書の誤りを正す意見書を提出すること
 - 東京電力が和解案を受諾するよう強く説得すること
- H26.7.24 町→町長他町民代表による国・東電への要求活動を実施

問 産業・賠償対策課賠償支援係 TEL 0243(62)0167